



第 61 回全国大会



学校と通院の両立

\\ 親子で考える学びの場 //

学ぶことは 生きること

友だちとの関係



2023/10/29日
9:45-11:45

会員
無料

(会員外)
一般
1,000円

先天性心疾患と診断された時から、患者・家族は入院・手術・治療という医療の現場で「命」と向き合い、成長とともに社会に出て地域で生活するようになります。社会参加の第一歩は、園や学校という教育現場です。しかし子どもたちの学びの場は、住む地域の制度や一人ひとりの状態によって様々であり、昨今はコロナ禍によって様変わりもしました。通院との両立、友だちとの関係、身体の特性をどのようにとらえて、どのように周囲に伝えていくのかなど、悩みや不安も多くあります。今大会では「学ぶことは生きること」というテーマのもと、病気をもつ子どもたちになぜ教育が必要なのか、令和になった今、どのような教育が必要なのかを親子で一緒に考え、学び、心構えを探っていきたくと考えています。

講演 病気の子どものためになぜ教育が必要なの？

～院内学級の子どもたちが教えてくれた大切なこと～



そえじま まさかず
副島 賢和 先生

昭和大学大学院保健医療学研究科准教授
昭和大学附属病院内学級担当

東京都公立小学校教諭として25年間勤務。うち8年間品川区立清水台小学校（昭和大学院内さいかち学級）担任。2014年4月より現職。病気のある子どもの教育の保障を研究。学校心理士スーパーバイザー。ホスピタルクラウン。2011年『プロフェッショナル仕事の流儀』（NHK 総合）に出演

会場

全国障害者総合福祉センター
戸山サンライズ（新宿区戸山 1-22-1）
または Zoom

定員

会場は 100 名まで

対象

先天性心疾患患者本人・家族、一般

内容

9:15	…	受付開始
9:45	…	開会
10:00	…	講演
11:10	…	質疑応答
11:45	…	閉会

参加お申し込み
お問い合わせは



一般社団法人全国心臓病の子どもを守る会
本部事務局
E-mail: mail@heart-mamoru.jp
TEL: 03-5958-8070 / FAX: 03-5958-0508

詳しくは
ホームページへ
<https://www.heart-mamoru.jp/>

